

西部センターだより 3号

H30.2.28

「行く1月、逃げる2月、去る3月」とはよく言ったもので、つい先日正月気分になっていたと思っていたのに、気がつけばあちらこちらに春の兆しを見つけられるようになりました。当センターがある「いわみーる」のまわりの植栽も、担当の方の手が行き届き、芽吹きを迎えています。

10年ほど前、人事異動で社会教育主事として浜田市教育委員会に派遣された時の出来事でした。「学校を辞めて、社会教育主事って何するんだ？」新聞を見た知人からの問合せがありました。教員の人事異動が新聞に載るとき、我々は「辞職」の欄に載ります。今年の正月、杯を傾けながらの何気ない会話の一コマで同じ知人から、「社会教育って、何してるん？」と聞かれました。教員から行政に移ったことは分かってくれていましたが、「社会教育」の内容や取組については、未だに理解してくれていなかったようです。

「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育…」 「…学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動…」と教育基本法（第12条）や社会教育法（第2条）の定義を伝えても上っ面だけ。「学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実」「発達段階に応じた教育の振興」「生涯を通じた学習と社会貢献活動の推進」「文化芸術の振興」などの県教育委員会社会教育行政の施策を並べて説明しても味気ない…。

（今、熱心に受講しておられる社会教育主事B講習では必要なのでしょうか…）

『社会教育で、地域の教育力が高まっている、地域の力が醸成され魅力が高まっている、それに向けセンターが取り組むことって、どんな姿や要素があるんだろう？ 必要なことは何だろう？…』この秋・冬、センターの職員間で話題にしてみました。また、管内の各市町を回り、現場で社会教育を推進しておられる方々から直接お話を伺い、現場の熱い思いや期待を受け止めたり、各地の実践発表会等で様々な取組の姿に学んだりもしました。この小文に目を通していただいている皆様は、「社会教育」についてどのような姿を思い浮かべられますか？

多くの方が経験を共有し、年度ごとや数年後の目標や姿が明確な「学校教育」と異なり、経験も様々、目標や姿も、解決策にも定まった答えのないのが「社会教育」だと思います。だからこそ、お互いが折り合いをつけた合意を導き出す「対話」が重要で、そのためにも、一人一人が自分事としての「対話」の場をつくり出す手法を用いた、「参加型」の学びの場や話し合いの場が大切になるのだと思います。

年度当初、社会教育は「井戸端会議の知恵袋」と紹介しました。「対話」をつくり出す知恵袋です。センター職員との話し合いで、「世間話で終わらない井戸端会議が盛んで、誰もが参加でき、また、誰をもの参加が必要とされる。対話から合意と行動を生み出す地域の様子」と自分のイメージを伝えるのですが、具体的な姿を描く合意形成はつくづく難しいと感じています。

今年度も当センターの事業の推進にご支援とご協力をいただきありがとうございました。来年度も、より一層皆様の声を受け止めながら、社会教育の姿を追い求めていきたいと思えます。

所長 舟木 志郎

松原

最近うれしかったこと。娘の勉強中に邪魔をして国語の教科書をパラパラとみていると、昔学んだ孔子の論語を見つけました。「学びて思わざれば則(すなわ)ち罔(くら)し、思いて学ばざれば則ち殆(あやう)し(学ぶだけで思考しなければ知識を生かすことができず、思考するばかりで知識を学ばなければ賢明な判断ができないという教え)」センターで学んだことはこれだ！見つけた自分にグッドジョブ！です。

永井

私、実は「めざし」大好き人間なのです。すっかり乾いた「めざし」は噛むほどに味わい深くなるのです。島根はまさに「めざし」です・・・と、私は思うのです。県外より30年ぶりに帰り、西部浜田に定着して10年。まだまだ色々な味が出てきそうな島根にワクワク・・・です。

河本

様々な人と出会えることと同様に、その地域ならではの食との出会いも私の楽しみの一つです。皆さんからエネルギーを、食からはパワーをもらっています。ため息をつくような時でも、ラーメンをすすってパワーチャージの私です。地域をより知るためにもエネルギーとパワーチャージにいそしみます。

家田

この時季になると思い出す小学校で学んだ『雪渡り』は、冬の研ぎ澄まされた情景が心に残る児童文学です。今冬は、雪の日の景色が荒々しい様をみせ、人々の生活を脅かしています。この困難な状況を、人の温もりや繋がりで乗り越えていくことができる“地域づくり”の必要性をより強く感じています。

スタッフから一言

図書情報

当センターでは、社会教育・生涯学習・研修等に関する書籍や資料をそろえています。貸出もしていますので、ご活用ください。詳しくは、センターまでお問い合わせください。

新訂 公民館における
災害対策ハンドブック
全国公民館連合会 編著

本の紹介

ロジカル・ディスカッション
チーム思考の整理術
堀 公俊+加藤 彰 著
日本経済新聞出版社



今年度の研修・講座をふり返って

研修名・日時	内 容
しまねの社会教育基礎講座 6/1 (木) 浜田合庁 6/6 (火) 益田合庁	社会教育の基礎的な考え方や県の社会教育行政の方針と事業について理解する。講義・事例発表・演習を通じて、社会教育の役割や事業を具体的に学び、社会教育を主体的に推進しようとする意識を高める。 [講義] 社会教育の役割と県社会教育行政の方針と事業 浜田教育事務所社会教育スタッフ企画幹 佐々木伸さん 益田教育事務所社会教育スタッフ企画幹 品川智成さん [事例発表] 社会教育実践の実際 ・地域交通に関する取組 邑南町布施公民館主事 日野貴志郎さん ・いきいき料理教室 益田市二川公民館主事 潮 総さん [演習] これからの方向性と今後自分ができること
第1回 コーディネーター研修 6/12 (月) 浜田合庁	連携・協働をすすめる具体的な動きについて考える。 [事業説明] 「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」 [講義] 「連携・協働の意義とコーディネーターのこれから」 大分大学 高等教育開発センター 教授 岡田正彦さん [演習・協議] 「連携・協働を進めるための具体的な動きについて考える」
公民館等職員研修 (全5回) 5/30 (火) 6/29 (木) 7/14 (金) 9/14 (木) いわみーる 10/13 (金) 少年自然の家	P D C A サイクルを活かした公民館事業の実際 第1回「これからの公民館に求められる役割と機能について考える」 第2回「実践から公民館事業を見つめ直す」 第3回「まちづくりにつながる人づくりを意識した公民館事業計画の立案」 第4回「公民館事業の評価と効果的なプレゼンテーション」 第5回「実践発表」&「ふりかえり」
親学2ファシリテーター ブラッシュアップ研修 7/28 (金) いわみーる	「親学プログラム2」のファシリテート体験をとおして、ファシリテート力を向上する。親学ファシリテーター相互の交流を図る。 [アイスブレイク体験] [演習] [井戸端会議]
社会教育委員研修 10/4 (水) 大田市民会館	公民館等の活動を視点として、誰もが社会参加しやすい環境づくりを考える。 [説明] 「島根県の公民館等の現状と期待される社会教育委員の役割」 [講義] 地域住民等の「社会参加」と社会教育委員 香川大学生涯学習教育研究センター センター長 清國祐二さん [演習・情報交換] 社会参加しやすい環境づくりをめざして、具体的な動きを考える
第2回 コーディネーター研修 10/31 (火) あすてらす	連携・協働を進める動きを“ふりかえる”“見つめ直す”“意味づける” [実践発表] ①千鳥の杜学園学校支援コーディネーターの取組 (松江市) 松江一中校区学校支援コーディネーター 渡邊圭子さん ②川本町教育委員会の取組 (川本町) 川本町教育魅力化コーディネーター 梅原梨さん ③畑迫公民館の取組 (津和野町) 畑迫公民館館長 青木由充さん 畑迫公民館主事 中村浩美さん ④さくら小ジャンプ教室コーディネーターの取組 (出雲市) さくら小学校ジャンプ教室コーディネーター 多久和真奈さん [全体協議・講評] 講評 岡山大学大学院 教授 熊谷慎之輔さん 国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官 志々田まなみさん
新規 ファシリテーター 養成講座 11/17 (金) 12/6 (水) 12/19 (火) いわみーる	「学習プログラム」に込められた想いや仕掛けを知り、自ら企画設計をしたり、「学習プログラム」を円滑に進行したりする力の更なる向上を図る。 第1回「参加型学習の意義を知ろう」 第2回「学習プログラムの企画設計をする」 第3回「学習プログラムをファシリテートする」
社会教育主事講習B 平成30年1/22 (月) ~2/28 (水) いわみーる・サンレイクその他	社会教育主事に任用される資格付与のための講習です。 「生涯学習概論」「社会教育計画」「社会教育特講」「社会教育演習」

